

8/27 悔しさをバネに、高校での飛躍を誓う
はごろも柔道クラブ 市長表敬訪問



はごろも柔道クラブの眞境名勇実選手(宜野湾中3年)と上原陸斗選手(真志喜中3年)が市役所を訪れ、第67回男子沖縄県中学校柔道競技大会において、団体戦で準優勝、個人戦73kg級で眞境名選手が優勝したことを報告しました。九州・全国大会での上位進出は叶わなかったものの、両選手が「この悔しさを忘れずに、高校では全国で通用する実力をつけたい」と語りました。

8/27 平和への想い、未来へ託す
山田真山画伯作の掛軸「白衣観音」贈呈式



市役所にて、山田真山画伯が1958年に描いた掛軸「白衣観音」の贈呈式が行われました。この掛軸は、山田真山画伯が平和祈念像原型制作の最中に、掛軸等の作品の創作の場を提供した上原豊和氏へ感謝の意を込めて贈られたもので、このたび、ご子息の上原悟様より「平和への想いを未来に伝えてほしい」と、市へ寄贈いただきました。掛軸は、現在整備が進められている普天間交流施設において、関連資料とともに公開予定です。

～寄附・寄贈など～ 温かいご支援ありがとうございます



JAおきなわ宜野湾支店
支援を必要とする世帯へレトルト食品や学用品



株式会社オーディフ
市内のこどもの居場所やこども食堂、児童センター等へジュース約1,000食分

8/21 写真で届ける、地域の魅力
宮城夏紀さん 全国高総文祭 写真部門で奨励賞



第49回全国高校総合文化祭「かがわ総文祭2025」写真部門において、写真奨励賞を受賞した宮城夏紀さんが市役所を訪れました。宮城さんの受賞作品「大きくなったら」は、宜野湾市新城のエイサーで楽しそうに、かわいらしく踊る男の子の瞬間を見事にとらえた一枚です。高校2年生から写真を始めたという宮城さんは「とてもびっくりしました」と受賞の喜びを笑顔で語りました。

8/26 力を合わせて、全国大会へ挑む
ダンスチーム「six petals」全国大会出場



市内のダンスチーム「six petals」の選手6名と講師が市役所を訪れ「THE ROOKIES 2025 1stシリーズ沖縄予選大会」において、小学生部門で見事優勝し、全国大会へ出場することを報告しました。名城梨珠選手は「全国大会でも6人で力を合わせて優勝できるよう頑張ります」と力強く述べ、新里 ルキア選手も「本戦で1位を取れるように全力を尽くします」と意気込みを語りました。

8/26 快挙達成!沖縄県史上初優勝
田場泉乃選手 全国小学校ゴルフ春季大会優勝



田場泉乃選手(宜野湾中1年)が市役所を訪れ、3月に開催された「第18回全国小学校ゴルフ春季大会」において、沖縄県勢史上初の優勝を果たしたことを報告しました。田場選手は「大会最終日は強風でしたが、海風が強い沖縄でたくさん練習してきた成果が出た」と振り返りました。悪天候の中、安定したプレーを見せ、6位から順位を上げて見事な逆転優勝を成し遂げました。

8/3 受け継がれる伝統
8/17 大山区大綱引き 真志喜大綱引き 開催!



▲大山区大綱引き ▲真志喜大綱引き

8/15 気持ちよく使える道づくりをいっしょに
令和7年度「道路ふれあい月間」道路清掃活動



道路愛護活動の一環として真志喜地区市道にて、市道路行政に係る6団体(宜野湾市建設業者会・宜野湾市調査測量設計会・宜野湾市はごろも緑花会・宜野湾電友会・宜野湾市管工事協同組合・宜野湾市技術支援コンサル会)および市職員、参加人数193人のもと道路清掃を実施しました。本活動は毎年8月を「道路ふれあい月間」と定め、道路の役割や重要性を広めるため、愛護活動や啓発に取り組んでいます。今年度も清掃を通じ、交通環境の向上をアピールすることが出来ました。

8/21 親子で学ぶ、電気の賢い使い方!
地球温暖化対策出前講座 LEDランタン作り



中央公民館2階集会場で「親子向けワークショップ」が開催され、市内の小学4～6年生とその保護者22組が参加しました。講座では、日常生活で電気を賢く使う大切さについて理解を深めた後「LEDランタン作り」に挑戦。親子で協力しながら約1時間かけて組み立て、完成時には笑顔を見せていました。最後は手作りランタンを持ち寄り点灯し、灯りが一斉にとると会場から大きな拍手が湧き起こりました。

8/3、大山小学校にて「大山区大綱引き」が、8/17には真志喜中学校にて「真志喜大綱引き」が開催されました。これらの行事は、五穀豊穡と地域の繁栄を願い、6月ウマチーに合わせて行われているもので、いずれも300年以上の歴史を誇る伝統的な祭事です。当日は、まず「前村渠(めんだかり)」と「後村渠(くしんだかり)」に分かれ、旗頭を掲げて競い合う「ガーイー」で士気を高めました。その後、県内でも真志喜・大山にのみ伝わる「アギイー(綱の揚げ合い)」が披露され、会場を盛り上げました。続いて行われたメインの綱引きでは、雄綱と雌綱を「カナチ棒」で結合し、合図とともに一斉に自陣へと引き寄せる力比べが繰り広げられました。最後は会場一体となって喜びのカチャーシーを踊り、夏の風物詩である両地域の大綱引きは、盛況のうちに幕を閉じました。

8/8 食事支援で、地域に笑顔を
食事支援地域交流事業を開催しました



宜野湾市地域活動支援センターTAPICにて、(株)かりゆし・21が運営する「沖縄そば専門店けんばんのそばやー」による「食事支援地域交流事業」が開催され、沖縄そば80食が無料で提供されました。このうち50食は支援を必要とする世帯やTAPIC利用者へ、30食はセンター周辺の地域住民へと振る舞われました。さらに当日は、子どもの居場所に通う子どもたちも参加し、キッチンに入りそばの湯切り作業を体験するなど、交流を深める場となりました。

8/13 「津波発生時における一時避難施設としての
使用に関する協定書」締結式



宜野湾市と合同会社コハグラとの「津波発生時における一時避難施設としての使用に関する協定書」の締結式が執り行われました。本協定は、西海岸地区での津波発生時に「ナウシカマンション」を一時避難施設として活用することを定めたものです。締結にあたり、代表社員の古波蔵勇さんは昨年「4月の津波警報発令の際、協定を結ぶ重要性を痛感しました。協定を通じて、地域に貢献できたいと思います」と述べました。